



## 愛治会総会(松山市)ご報告 ～愛治ちんどんクラブ熱演～

愛治地区出身者の「愛治と仲間をこよなく愛す者」で構成する「愛治会」(三井英光会長)は今や会員総数104名を擁しています。

6月8日に38名が出席し第28回総会を開催しました。総会ですから、“ちいとは格好つけんといけん”と、型どおり会長挨拶・会計報告等を行い、生田の松廣武雄さんのご発声で乾杯し懇親会スタート。今年は鬼北町が誇る「愛治ちんどんクラブ」にお出でいただき、これまでにないにぎやかな総会となり大いに盛り上がりました。

### ちんどん登場

チンチンドンンの鐘太鼓とともにドーラン塗りたくったちんどんクラブの入場です。見事?な変身振りでどこの誰かまるで判らない。そこでちんどんクラブ会長の久保田正敏さん司会で一人ずつ自己紹介。

「生田の〇〇の息子で□□です。」  
「畔屋の〇〇の娘で□□です。」  
長老某氏「誰かの息子とか娘と言ったが親父の名前では判らん、爺さんの名前ならなあ…」  
に会場大爆笑。何しろ長老は80歳を越しておられました。

いよいよメインイベントの大宴会です。  
「おう元気だったかあ?」

### ▼愛治会と愛治ちんどんクラブの皆さん



「お前もまだ生きとったか」  
「痛風はどうだ?」  
「酒やめてまで治そうと思わん!」  
「お孫さん幾つになられました?」  
「もう大学生で全然松山に帰りません」

ワイワイガヤガヤと遠慮ない会話が弾み、飲みかつ食べていた会場が、演奏開始とともに一瞬シーンと静まり、ビールを持つ手がピタッと止まったではありませんか。赤・青・黄色に金色まで加えたド派手な衣装にも度肝を抜かれましたが、想像をはるかに超えた名演奏の迫力に圧倒され、好きな酒さえも忘れたのであります。最初は席に座って行儀よく聴いていた会員もすぐに打ち解け、携帯片手に急造カメラマンとなり会場を走り回る。

### さすが愛治の仲間

演奏も終了近くなるとビール片手にちんどんメンバーに近づき、「おばちゃん(?)上手いもんだ、まあ一杯どうかな」  
「まあ、でもまだ終わってないけん、握手だけね」  
「ほう、あんた清水かね。確かわしが青年の頃20代の美人だった。親父さん達者かね?」  
「だったは無いですよ、今は違うかな」

なんて1コマもあり、会員もゲストもすっかり仲間になりました。

### どじょうすくい登場

エンディング曲「好きになった人」の♪さようなら・さよなら元気できてね、で終了かと思ったら、久保田会長「本日は大変気分がよいので番外でどじょうすくいをご披露します」(拍手)

さすがちんどんで鍛えた音感、足に蛭が食いつく仕草・どじょうが手から逃げる様子は言うに及ばず、ニコリともしないでの名演技に拍手の嵐。素晴らしい演奏・演技があっという間に過ぎた40分でした。

2時間の総会が終わり、新会長に高村俊文氏(清水)を選出し、来年の再会を誓って、最後に集合写真を撮りました。

愛治ちんどんクラブの皆様ありがとうございました。

(追伸)

愛治会も結成以来28年にもなり高齢化が進み、今や“絶滅危惧種”に指定される寸前です。“どげんかせんといけん”と願っておりますので、愛治出身で松山周辺にお住まいの方をご存知でしたら、是非とも教えてください。

代表幹事/岡田啓

(☎089-977-8187)